

**特定保守製品**

**バス換気乾燥機 工事説明書**

品番 **FY-14UWM3**

**特定保守製品に関するお願い**

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた「特定保守製品」です。  
 ■特定保守製品とは、「経年劣化により安全上故障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品で、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なものである」として法令で定められたものです。  
 ■付属の取扱説明書と所有者票（黄色の封筒に入っています）は、特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者・賃貸業者等の所有者）に必ずお渡しください。  
 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、特定製造業者等に対して、所有者情報を提供する義務が定められています。

**安全上のご注意 必ずお守りください**

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）
- ❌ してはいけない内容です。
  - ⚠️ 実行しなければならぬ内容です。

**警告**

- 設置工事はお買い上げの販売店または、専門業者に依頼する
  - ❌ ご自分で設置工事をする不備があると、感電、火災の原因になります。
- 仕様変更・改造は絶対にしない
  - ❌ 火災・感電・けがの原因となります。
- 分解禁止
  - ❌ 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- 内釜式風呂を設置した浴室に取り付けない
  - ❌ 揺れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因となります。
- 配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事が確実にこなす
  - ❌ 誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。
- アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する
  - ❌ アースを取らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。
- 電源電線は確実に接続する
  - ❌ 不確実な接続をすると接続部が過熱し、火災のおそれがあります。
- 電源電線は確実に固定する
  - ❌ 揺れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因となります。
- 強い振動や衝撃を与えない
  - ❌ ヒーター管が破損し、感電やガラス破片によるけがの原因となります。
- 必ず交流100ボルトで使用する
  - ❌ 守らないと火災・感電の原因となります。
- メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造営物に設置する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける
  - ❌ メタルラス、ワイヤラス、ステンレス板などに接触していると、漏電の原因となります。
- 衣類吊り下げ用パイプは、本体から350mm離す
  - ❌ 本体に近づけ過ぎると、近接火災のおそれがあります。
- コンセントおよび換気扇用スイッチは使用しない
  - ❌ 漏電、感電や火災のおそれがあります。

**注意**

- 本体は、確実に取り付ける
  - ❌ 落下により、けがをするおそれがあります。
- 本体は、十分強度のあるところにしっかりと取り付け、強度不足の場合には補強する
  - ❌ 取付けに不備があると、落下により、けがをするおそれがあります。
- 温水に取り付けけない
  - ❌ ヒーター管が破損し、感電やガラス破片によるけがの原因となります。
- 本体は指定の方法で確実に取り付ける
  - ❌ 落下により、けがをするおそれがあります。

**お願い**

- 油煙の発生する場所に取り付けなさい
  - ❌ 故障の原因になります。
- 高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けなさい
  - ❌ モーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。
- 製品本体は傾かないよう（水平）に設置してください
  - ❌ ヒーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。
- 浴室の広さは、以下をめやすとってください
  - ❌ ユニット（S1坪タイプ（内寸1.6m×1.6m）まで）  
 在来工浴室1坪タイプ（内寸1.6m×1.6m）まで  
 一坪を超える浴室および、下記①～④の浴室では、室温がほとんど上昇しないことがあります。
- スプレーを使う場所に取り付けなさい
  - ❌ 故障の原因になります。
- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください
  - ❌ 製品下方に窓がある場合は、窓にブラインド設置をおすすめします。
- リモコンは直射日光が当たるところや、シャワー等の水がかかりやすいところには取り付けしないでください
  - ❌ 故障の原因になります。
- 製品吹出口の横の壁面は約75℃に上昇する場合があります
  - ❌ 熱による変形のおそれがないか事前にユニット（S）や壁材のメーカーにご相談ください。
- 2階以上の足場が無いところへの設置はしないでください
  - ❌ 専用の漏電遮断器をご使用になる場合は、過電流保護兼用で定格電圧20A、高感度高遠形（定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下）のものをお選びください。
- 有機溶剤を使う場所に取り付けなさい
  - ❌ 故障の原因になります。
- 効果的な換気のため給気口を設けてください
  - ❌ ヒーター管を棒などで触らなさい
    - ❌ 破損の原因になります。
- ヒーター管を棒などで触らなさい
  - ❌ 破損の原因になります。
- スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付けなさい
  - ❌ 故障の原因になります。
- 専用の漏電遮断器をご使用になる場合は、過電流保護兼用で定格電圧20A、高感度高遠形（定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下）のものをお選びください
  - ❌ 専用の漏電遮断器をご使用になる場合は、性能十分に発揮できなかつたり、浴室壁面、造営物を熱によりいためることがあります。

**お願い**

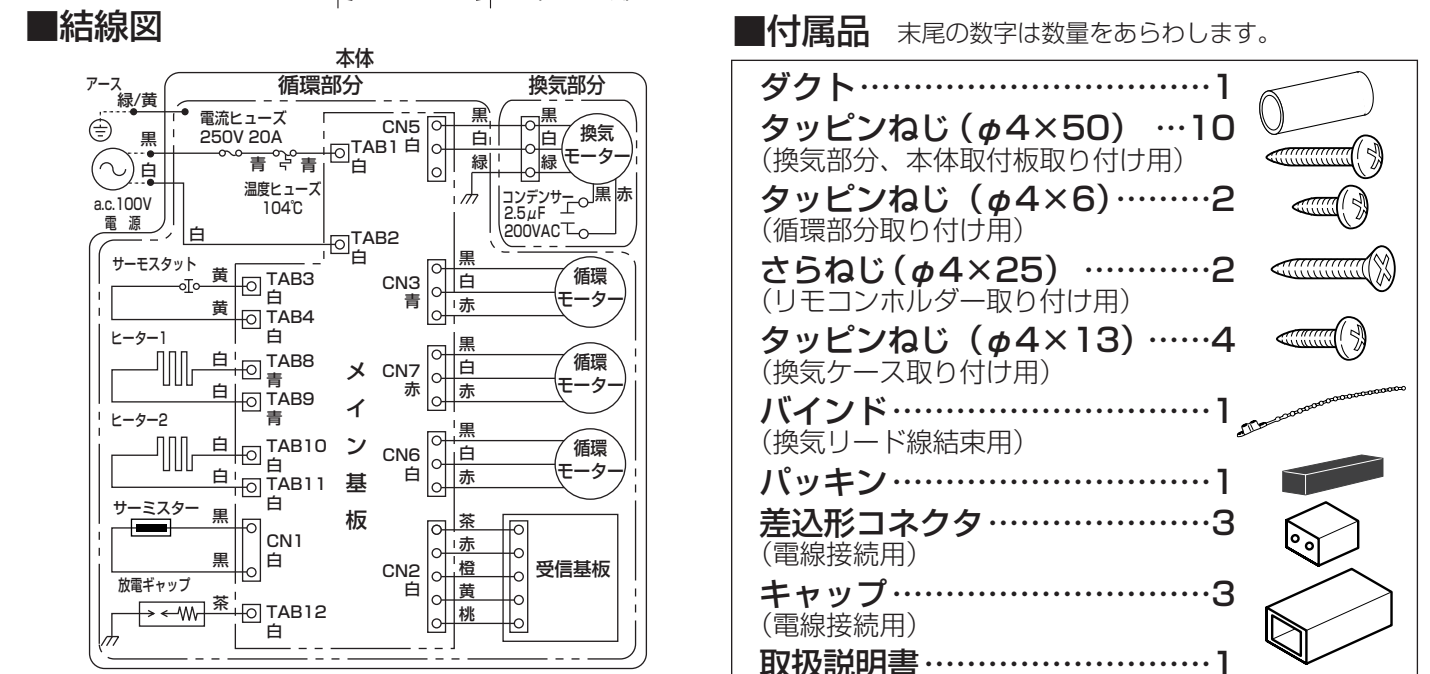
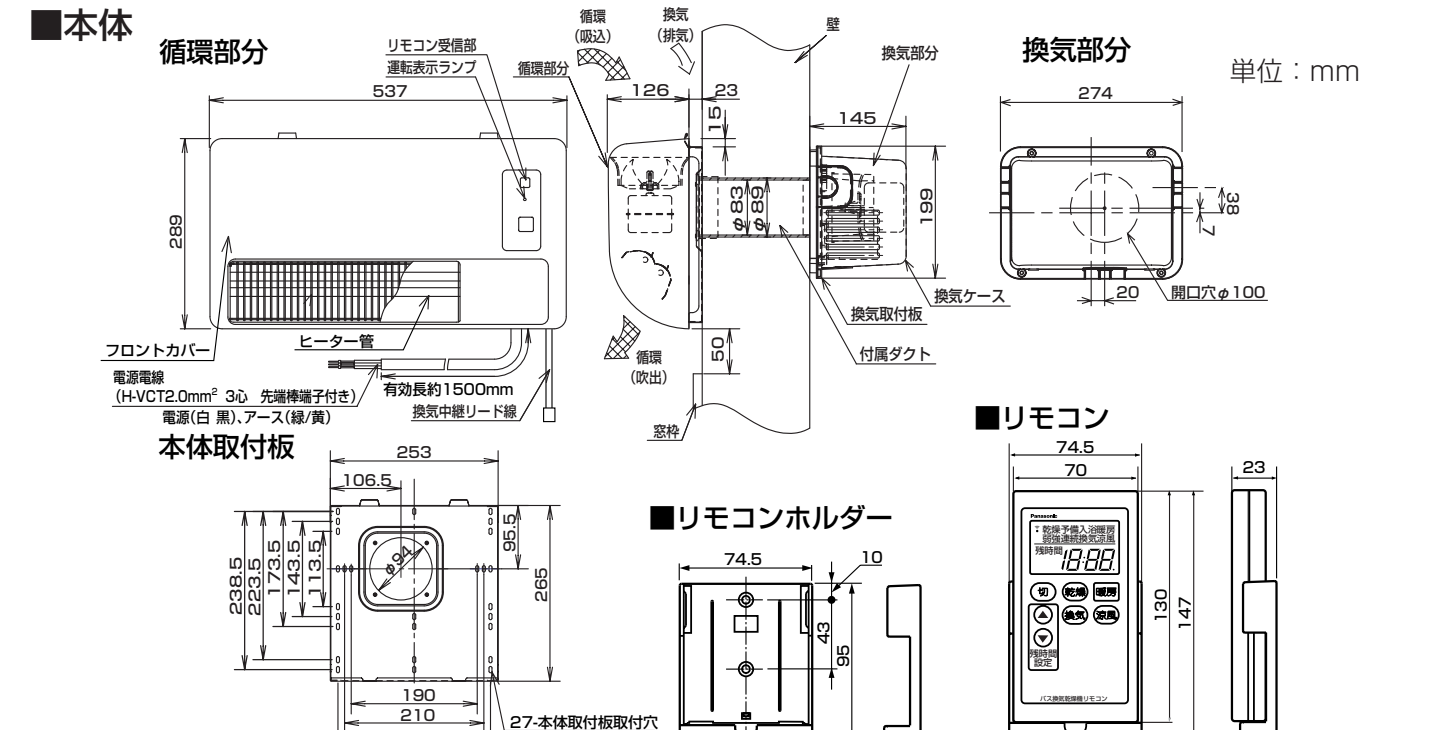
■製品は壁厚240mm以下の壁に取り付けてください。（付属のダクトでは取り付けできません）

■アース棒の埋設場所について

■製品の取り付けには下記のような規制を受けまのでご確認ください。（地域によっては、火災予防条例にもとづく指導がある場合がありますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。）

■配線工事および、D種接地工事（旧第3種接地工事）（100Ω以下）は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事が確実にこなしてください。

**各部の名称と寸法**



品名	仕様	適合	用途
漏電ブレーカー	過電流保護兼用で定格電圧20A、高感度高遠形（定格電流15mA・動作時間0.1秒以下）	適宜	
電源電線	VVFケーブルφ1.6またはφ2	適宜	アース工専用
アース線	銅線直径φ1.6以上（または断面積が2mm <sup>2</sup> 以上）	適宜	
アース棒		適宜	
防水ジョイントボックス	WJ4101（パナソニック（株）製）相当品	1個	
衣類吊り下げ用パイプ	耐荷重4kg以上 ステンレス製などの錆にくいもの ボードファスター（サンコーテクノ）製相当品	適宜	衣類乾燥用
アンカープラグ	BS TYPE BS-405 BS-409 BS-416 適用板厚 1～5mm 3～9mm 10～16mm	適宜	本体取付板固定用
シリコン		適宜	コーキング用

**1 設置位置の決定**

1. 機器を設置する壁は外壁であること。  
 2. ヒーターの輻射の方向は、洗い場に向くこと。  
 3. 循環部分の周囲に適切にすまがあること。  
 4. 換気部分の周囲に適切にすまがあること。

**2 本体取付板の設置**

新規に丸穴をあける場合

1. 本説明書裏面の型紙を水平に壁にあて、ダクト中央穴位置と本体取付板ねじ穴位置（6か所）を壁にけがく。
2. 下穴をあける前に本体取付板をけがいた穴位置に合わせ、水準器を使用して水平度を再度確認する。
3. 本体取付板のねじ穴をけがいたところに下穴をあける。  
 ■浴室の内・外壁の現状確認をおこない、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておく・事前に補修をおこなっておくこと。
4. ダクト穴をあける。（φ100）  
 4-1. ダクト中央穴位置にロングドリルを使用して、下穴をあける。  
 ■タイルやタイル目地での下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意してください。  
 ■タイルの目地に下穴の周囲にシリコンを塗布してください。  
 ■穴の縁は、壁面の材質に合わせておこなってください。

4-2. 下穴を利用して、浴室側の壁面にφ100の穴をあける。  
 ■壁材質によって、ホルソーを選定してください。  
 （参考）  
 タイル、モルタル …… ダイヤモンド  
 木板 …… 木工用  
 塩ビ鏡板 …… 板金用

4-3. 下穴を利用して、外壁側の壁面にφ100の穴をあける。

5. ダクトの長さを調整する。  
 ■同種のダクトを壁厚+10mmの長さにて切断用ノコギリを使用して切断します。

6. ダクトを本体取付板に取り付ける。  
 ■本体取付板のダクトアダプターの溝に、シリコンを塗布し、ダクトをはめ込みます。  
 ■ダクトは水平に取り付けてください。

7. 本体取付板を取り付ける。（6か所）  
 ■この製品は循環部分で5.4kgあります。取付板は、堅固に、また確実に取り付けしてください。  
 ■特に、ユニットバス等、中空構造壁の場合、市販のアンカープラグ（サンコーテクノ（株）製ボードファスター BS TYPE）などを使用して、確実に取り付けてください。  
 ■水準器などで水平を確認してから取り付けてください。

8. 本体取付板を取り付け後、取付板周囲（下辺を除く）およびねじ周囲をシリコンにてコーキングする。

既存の木枠を使用する場合

1. 上記、5～8の作業をおこなう。

■ねじ止め位置は、木枠の中心になる穴を使用し取り付けしてください。  
 ■ねじ穴をふさいでいるテープは、絶対にはがさないでください。テープの上からねじ止めをしてください。（風湿の原因となります。）

**3 換気取付板の取り付け**

1. 製品換気部の下側ねじ（2か所）をはずし、上側ねじ（2か所）をゆるめ、換気ファン部分を取りはずす。

2. 電線を通す板を切り取る。

3. 切り取った部分にすまのないようにパッキンを貼りつける。

4. 換気取付板を壁面に取り付け。

4-1. 換気取付板の溝にダクトをはめ込むように取り付け。

4-2. 水準器で水平を確認しながら、付属のタッピンねじで換気取付板を取り付ける。（4か所）

4-3. 換気取付板の周囲（下辺を除く）および、ダクト接続部をシリコンでコーキングする。

**4 循環部分の取り付け**

1. 循環部分の引っ掛け穴を本体取付板のツメに引っ掛け、そのままの状態では循環部分の電源電線と換気中継リード線をダクト内に通す。

2. 循環部分のツメが本体取付板の内側に差し込まれていることを確認し、循環部分を本体取付板に固定する。

3. 本体取付板と、循環部分を付属のタッピンねじ（2か所）で固定する。

**5 換気ケースの取り付け**

1. 換気ファン部分を上側ねじ（2か所）に引っ掛ける。  
 ■換気中継リード線と電源電線は左側面のフックより取り出してください。

2. 換気ファン部分をねじ（4か所）で固定し、換気中継リード線を接続する。  
 （余った換気中継リード線は付属のバンドにより、結束しておきます。）

3. 換気ケースを取り付ける。  
 3-1. 換気ケースの電源電線取出口の切り欠き部をニッパーを使って切り取る。  
 ■電源電線を下向きまたは右向きに取り出す場合は、下図のように向き直してください。  
 ・下向きに電源電線を取り出す場合  
 ・右向きに電源電線を取り出す場合

3-2. 電源電線取出口から電源電線を取り出し、付属のタッピンねじで換気ケースを固定する。（4か所）

3-3. 電源電線取出口をコーキングする。

■電源電線取出口は、バリがないように切断してください。バリがあると、電源電線を傷つけるおそれがあります。  
 ■換気ケース取り付けのとき、リード線等のさき込みが十分に注意してください。  
 ■コーキングしないと、機器内部に雨水が浸入します。必ず、コーキングしてください。

**6 電源の接続**

1. 防水ジョイントボックス（市販品）の中で、電源電線（アース線含む）を付属の差込形コネクタを使い結線する。

■電源の接続は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。  
 ■電源電線のアース線（緑・黄）は必ず接続してください。[D種設置工事（旧第3種設置工事）]  
 ■現場電源電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。  
 ■電源電線は途中で切断しないでください。  
 ■本体電源電線の白色側を屋内配線の接地線に接続してください。  
 ■屋内配線が正しくおこなわれているか、極性を確認してください。  
 ■電源は必ずa.c.100Vを使用し、電源電線先端の極端子は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。  
 ■電源は必ずa.c.100Vを使用し、電源電線先端の極端子は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。  
 ■電源電線はバンドなどで束ねて取納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。  
 ■プラグは使用しないでください。

■アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する  
 ■電源電線は確実に固定する  
 ■配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事が確実にこなす

**7 リモコンホルダーの取り付け**

1. 取付位置を決定する（取付位置はお客様とご相談のうえ、決定してください）

2. リモコンホルダーを付属のさらねじで固定する。（2か所）

3. リモコンをリモコンホルダーに収納する。

**8 衣類吊り下げ用パイプの取り付け**

右記の位置に、衣類吊り下げ用パイプ（市販品）を取り付ける。

■衣類吊り下げ用パイプを購入される場合は必ず1本当たり4kg以上の重量に耐えるステンレス製などの錆にくい品物を選んでください。  
 ■衣類吊り下げ用パイプの取付位置は、必ず右記の寸法で取り付けしてください。（指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります。）

**9 試運転**

取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転をおこない異常がないか確認する。異常については取扱説明書の「故障かな」のページを参照する。

■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

**10 確認事項のチェック**

右記の確認表にしたがい、確実に施工したかを再度確認してください。施工できていれば✓チェックを記入してください。	チェック内容	チェック欄
	製品と壁面および造営物の間に適切にすまがありますか？	
	衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は350mm離れていますか？	
	電源電線・アース線の接続は確実ですか？	

# 取付用型紙

工事の際、壁面に貼り付けてご使用ください。（浴室内から見た図になっています）  
 なお、この型紙の寸法は湿気などにより変化しますので、寸法を確かめてご使用ください。

